town topics
まちのわだい

事故のない安全・安心な社会を
交通安全推進町民大会を開催

平成31年度津別町交通安全推進町民大会（主催　津別町交通安全推進委員会）が4月10日、町民会館で開催されました。

大会の冒頭、参加者全員が交通事故犠牲者に黙祷をささげ、死亡交通事故ゼロへの思いを新たにしました。

『第27回交通安全標語コンクール』の表彰では、小学生、中学生、高校生の部それぞれの入賞作品が発表され、入賞者に佐藤町長から表彰状が手渡されました。

続いて主催者・来賓の挨拶、交通死亡事故ゼロ日運動の確認、各団体の代表による決意表明が行われ、最後に美幌警察署津別駐在所長による交通安全講話で大会を終えました。

▲多くの町民が参加した大会の様子

最新装備の水槽付き消防自動車を導入
津別消防署で納車式が行われる

津別消防署の車両更新に伴い、新しい水槽付き消防自動車が導入され、4月2日、同署で納車式が行われました。

平成8年以来23年ぶりに更新された新消防車両『津別タンク1』は、乗車定員6名、積載水量6000リットル。効率的な夜間活動を行うために投光器などの照明類は全てLED仕様となり、圧縮空気泡消火システムをはじめ最新の消防機材が装備されています。

新消防車両の配備により、消火活動の一層の向上が図られ、式に臨んだ消防職・団員一同も地域の安心・安全を守る使命に向けて決意を新たにしました。

▲納車式の後、署員から来賓らに新しい消防車の説明が行われました

新一年生の交通安全を願って
ランドセルカバー、マスコット寄贈

3月26日、津別町交通安全協会（中島浩一会長）から町教育委員会に黄色いランドセルカバーと、交通安全標語ポスター、交通標識定規が寄贈されました。

また、3月27日には町内のボランティアグループ・折りづる会（林洋子代表）より、ウミガメをモチーフにした手づくりのストラップ付き交通安全祈願マスコットが寄贈されました。

児童たちの安全な通学を願うこれらの品は、津別小学校の新一年生全員に贈られました。

▶交通安全協会・中島会長（右）と宮管教育長

▶折りづる会の皆さんと宮管教育長

平成31年度津別町山火事予消防対策協議会開催
山火事から森林資源を守るため予消防対策要綱等を確認

4月11日、平成31年度の津別町山火事予消防対策協議会が、林業研修会館で開催されました。

対策本部長の佐藤町長、実施機関である網走南部森林管理署長らの挨拶に続いて議事に入り、ふるさとの豊かな森林を火事から守るための、津別町山火事予消防対策要綱の確認や、各機関から連絡事項の報告等が行われ、参加者は山火事防止への決意を新たにしました。

▲山火事予消防対策協議会会場の様子

地域おこし協力隊員の鈴木さんに辞令交付

4月8日、地域おこし協力隊員として、帯広市より鈴木仁さんが着任し、佐藤町長より辞令交付されました。

鈴木さんは、グループホームほのぼのにおいて、入居者の生活支援や介護支援に携わりながら障がい者スポーツの普及にも取り組みます。

※「地域おこし協力隊」とは、総務省の事業で首都圏等から地方へ移住し、生活支援や地域活動に協力し、将来は地域で就業または起業することで地域の活性化を目指すものです。

▲佐藤町長から辞令の交付を受ける鈴木さん（右）

小・中学校周辺の通学路で注意喚起
建設産業団体が交通安全旗を寄贈

4月11日、建設会社等が加盟する団体、建設産業交通安全推進網走地方本部美幌支部（支部長代理・中村光一津別建設株式会社代表取締役）から町教育委員会に、交通安全旗の寄贈がありました。

黄色地に赤い文字で『交通安全』とプリントされ、エゾシカをモチーフにしたイラストをあしらった大型の旗80枚は、小・中学校周辺の通学路に掲げられ、児童・生徒の交通安全意識高揚やドライバーへの注意喚起に役立てられます。

この交通安全旗は、春・秋の全国交通安全運動期間に合わせて、例年4月と9月に新しいものと交換しています。

▶交通安全旗を広げる中村支部長代理（右）と宮管教育長

地域おこし協力隊の思いつき日記

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

その66　本当の地域おこし協力隊の始まり

立川　彰

静岡県出身。東京でテレビ番組のADを経験後、千葉県船橋市で映像制作会社を起業。二児の父。

2016年6月から始まった地域おこし協力隊の活動も、5月31日で任期満了となる。移住時には、生まれたての赤ん坊だった長男も、飛んだり跳ねたりしゃべったりするようになった。任期終了後も町内で仕事を続け、子育てもお世話になり続ける予定だ。

任期中に「道東テレビ」を立ち上げ、広報番組「タウンニュースつべつ」の制作を始め、北海道映像コンテストで入賞した。また異業種交流会「小松菜ハイボールを飲もうの貝」や映像制作教室を行い、町が行う道東エリアリノベーションプロジェクトに採択され、コワーキングスペースJIMBAを作り、カフェ&シェアバーも始める事ができた。全部僕がずっとやりたかった事で、津別町に来て実現することができた。これらを町の活力につなげていきたい。目的は人口を増やす事だ。

道東テレビのキャッチコピーは「あなた輝くまちテレビ」。町の皆さんの生き生きしている様子を映像で発信することで、その輝きが増すお手伝いをしたい。これからは地域おこし協力隊という枠組みから外れ、一津別町民として、一事業者として、皆さんと一緒に未来を切り拓いていく。

最後にいつも支えてくれる妻に。ついて来てくれてありがとう。これからもよろしく。